

南消防署南正雀出張所消防ポンプ自動車（CD-I型）仕様書

第1 総則

1 仕様

本仕様書は、吹田市消防本部（以下「当本部」という。）が、令和5年度消防車両更新事業として購入する、消防ポンプ自動車（CD-I型）（以下「ポンプ車」という。）の仕様について定める。

2 関係法規

このポンプ車は、本仕様書に定めるものの他、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱に定められた規格に適合するもので道路運送車両法等関係法規に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

3 承認図

当本部との契約業者（以下「艀装業者」という。）は、ポンプ車のシャシ及びポンプ等艀装製作にあたり、下記の書類を承認図として当本部へA4ファイル綴りで2部提出し、承認を受けたのち製作を開始すること。

なお、承認図提出前に当本部と製作車両の艀装について十分協議し、当本部の仕様を十分に反映させること。

(1) シャシ及びポンプ等艀装製作工程表

(2) 一般艀装図シャシ及びポンプ等艀装

ア) 五面図「正面・左右側面・後面・上面」

イ) ボックス内艀装図・配置図

ウ) オーバーヘッド・センターコンソール取付艀装図・配置図

エ) キャブ内艀装図・配置図

オ) キャブバック艀装図・配置図

カ) 車体組立図（補強材料及び組立寸法図）

(3) ポンプ組立図

(4) ポンプ架装図

(5) 配管系統図

(6) 電気系統図

(7) 軌跡図

(8) 艀装諸元明細書

(9) 積載資機材一覧表及び重量表

(10) ホースカー図面

(11) その他当本部の要求する書類

4 疑義

本仕様書並びに製作中に疑義が生じた場合は、早急に当本部の指示を受け処置すること。

5 車両管理

艀装業者は、納車するまでシャシ納入業者と連絡を密にして十分な打合せを行い、相互協力のうえ工事の円滑を図ること。

また、車両の管理には細心の注意をはらうこと。車両の管理中に不都合な箇所が発生した場合は、早急に原状回復させるとともに当本部へ報告すること。

6 留意点

製作にあたっては、特に次の点に注意すること。

- (1) 軽量、頑丈、優美であること。
- (2) 積載品は、取付け取外し、収納及び取出しが容易に行えること。
- (3) 艀装製作全般にわたり、厳重検査を実施すること。
- (4) 本仕様書で明記していない箇所で、艀装するうえで当然すべきことは、艀装業者で責任を持って実施すること。
- (5) 同等品以上を使用する場合は、質疑期間中に機種本体及び仕様を示す資料を当本部に掲示し、審査を受けること。同等品の解釈は当本部の判断によるものとする。

7 検査

艀装業者は、当本部が実施する下記の検査に立ち会い、検査において不都合な箇所を発見の際は、速やかに処置すること。

なお、検査に係る一切の費用を負担すること。検査は当本部の検査員が3名から4名で実施するものとし、艀装完成時の検査では当本部が別に指定する検査員に対し車両説明を行うものとする。

- (1) 中間検査 シャシ艀装、ポンプ等艀装
- (2) 完成検査 シャシ艀装、ポンプ等艀装（転覆角度測定検査・重量測定検査）

8 責任の所在

設計、製作材料等について、特許、その他権利上の問題が起こったときは、艀装業者がその責任を負うこと。

また、納入後に発生した艀装箇所の不具合についても、シャシ側、艀装側を問わず艀装業者が一切の責任を負うこと。

9 新規登録検査

完成車は、積載予定器具等を全装備し、運輸支局で新規登録検査を受け、合格後、燃料タンクを満量にして当本部へ納入すること。

なお、艀装業者はシャシ納入業者と協力して新規登録に関する事務の一切を行うこと。

10 保証

保証期間は、シャシ、ポンプ本体及び真空ポンプ等の重要機構は納入後2か年以上、その他は1か年以上とする。

ただし、設計不良、材質等に起因する不都合な箇所を発見の際は、保証期間後であっても無償にて取替え又は修理を行うこと。

11 提出書類

完成車納入の際は、次の書類を提出すること。

(9) から (12) までを除く書類については、A4サイズのファイル1冊(2部)に綴り当本部へ提出すること。(4) 及び(13)の各1部については新規登録検査後、ただちに当本部へ提出すること。

- | | |
|--------------------|----|
| (1) 自動車改造計画書 | 2部 |
| (2) 車両重量実測表及び計量証明書 | 2部 |

- (3) 車両取扱説明書 2部
- (4) 自動車検査証の写し 3部
- (5) 消防ポンプ自動車受託試験合格証の写し 2部
- (6) ポンプ性能試験成績表 2部
- (7) 構造及び取扱い説明書 2部
- (8) 構造及び取扱い説明（動画及びパワーポイント等） データファイル
- (9) 納品書 1部
- (10) 納品内訳明細書 1部
- (11) 請求書 1部
- (12) 請求内訳明細書 1部
- (13) 新規登録後写真（A4紙1枚に前後（ナンバープレート入り）左右
の写真4枚を収めカラー印刷したもの） 3部
- (14) 転覆角度測定証明書・重量測定証明書（写しを含む） 各2部
- (15) 各種資器材取扱い説明書等 2部
（取扱説明書が無い場合は、カタログ等で諸元が記載されているもの）
- (16) その他当本部の要求する書類

12 納入期限及び納入場所

納入期限は、令和6年3月29日（金）とする。納入場所は、当本部が別途指示する。

13 その他

- (1) 本仕様書に明記されていない点は、各業者公表の標準仕様とすること。
- (2) 納車日から1週間以内に、シャシ取扱い説明を1回以上、艀装等の取扱い説明を2回以上実施するほか、納入資器材で当本部が必要とするものについても取扱い説明を実施すること。
なお、資器材の取扱い説明については、当本部の車両運行開始日までに艀装業者が、資器材納入業者と調整を行い実施するものとする。

第2 車体構造

1 完成車両諸元

完成車両の諸元は、道路狭あい地域を克服できるように次のとおりとするが、可能な限りコンパクトに仕上げること。

- (1) 全長 約6,100mm
- (2) 全幅 約1,920mm
- (3) 全高 2,340mm以下 厳守
- (4) ホイールベース 2,750mm以上
- (5) 乗車人員 5名以上
- (6) 車両総重量 7,300kg未満

2 シャシ関係

(1) シャシ

国が示すCD-I型消防ポンプ自動車の艀装が可能で、ディーゼルエンジン・マニュアルミッションを搭載した低床型4輪駆動車とし、ポスト新長期の排ガス規制

をクリアした次のメーカー公表の最新型車とすること。

トヨタ製 3トンシャシ又は同等品とすること。

(2) 主要諸元

ア) オルタネーター	24V-80A以上
イ) タイヤ	サイズ205/85R16「マッド&スノー」 ラジアルタイヤ、アルミホイール スペアタイヤ1本含む
ウ) 乗車定員	5名
エ) 燃料タンク	60ℓ以上
オ) エンジン回転計	
カ) エンジン油温計	
キ) ブレーキ	ABS装置
ク) オイルパンヒーター	差込部は車外マグネットコンセント・コード10m付
ケ) 間接冷却器	
コ) オイルクーラー	
サ) バックモニター	ルームミラー型
シ) フォグランプ	
ス) サイドミラー	2面鏡式(助手席電動格納式ワイドビュー)
セ) ドライブレコーダー	GPS機能付き 自動時刻設定機能付き
ソ) キャブチルト装置	
タ) 音声アラーム	
チ) 後退警報器	
ツ) 坂道発進補助装置	
テ) ポンプ駆動用PTO	

第3 概要

1 車体概要

このポンプ車は、エンジンの動力を水ポンプに伝える装置を搭載し、ポンプ室上部及び後面収納庫シャッター式でダブルキャブの後方にポンプ室、器材収納庫を設け、後部にはホースカーを備えた車両であること。

また、各資器材等を安全迅速に取出し出来る構造とすること。

2 消防ポンプ

シャシ固有の動力伝達装置に、ポンプ室のスペースを有効に活用でき、摩擦損失が少なく十分な放水量を確保できる一段ポリユート式水ポンプを装備し、河川、消火栓等の水利から強力な放水ができ、火災に対してすみやかに活動できる車両であること。

3 車両形状

- (1) ボディは軽量化を図り、左右側面収納庫各1枚、後部(背面)1枚が手動式アルミシャッターとすること。
- (2) シャッターが走行中に異音を発することや、器材収納庫内に雨水等が入ることのないように高品質パッキンを使用すること。
- (3) 車体天井部はアルミ縞板張りとすること。

- (4) 車両構造は、軽量化を図るため主要材料をアルミニウム合金等とし、必要部分には鋼材を用い十分な強度を有する構造とすること。

4 キャブ

- (1) ダブルキャブの4ドアで、全席にシートベルトを設け、後部座席前に手摺りを取り付けること。

各ドアはヒンジ部を強固なものとし、折損、脱落等の恐れがない構造とすること。

- (2) 各ドアのロックは全席電気式集中ドアロックとすること。

- (3) キャブ内後部の張出し部分にウォーカーウェイ（エアウォーター防災製ブルネッカー530Ⅲ及びドレーゲルPSS5000に対応）3基取付け、残りスペースにはフック・ネット及び物入れボックスを設けること。（別途協議）

※指定呼吸器で納入前に取付け取外し確認を必ず行っておくこと。

- (4) 後部座席上方に呼吸器用とは別に大型折り曲げ式フックを5箇所以上取付けること。

- (5) 内天井の前席中央付近に2箇所及び後席左右に各1箇所収納ネットを取付けること。

- (6) 前席と後席の間にステンレス製で強固な手摺りを設け、その手摺り棒に地図等を収納するボックス（A3サイズ以上）を中央席側に設けること

また、取付けにあっては足元のスペースが十分に確保できるよう斜めに取付けること。（別途協議）

- (7) オーバーヘッドコンソールボックス及びダッシュボードの指示する位置に無線機、電子サイレン、ICレコーダー、指令端末装置、各電装スイッチ、エッチングプレート等を取付けすること。

（無線機及び指令端末装置の取付けは業者と十分に協議して行うこと。）

- (8) 消防章（直径約150mm）を車体前面に取付けること。

- (9) キャブ左後方に旗立てパイプ（水抜き、ロック付き）を設けること。

- (10) 車両整備用としてフロントバンパーを前出しアルミ縞板付きとすること。

- (11) 室内照明

ア) キャブ内天井には、LED照明灯を埋込み式で2器取付けること。

イ) 照度は蛍光灯20Wと同等以上の照度とすること。

ウ) スイッチはキャブ中央ピラ左右に各1箇所設置し、階段スイッチとすること。

エ) 助手席ピラ付近及び後部ピラ付近に蛇管式LEDマップランプを取付けること。

- (12) 後部座席手摺りフロント側に、携帯拡声器を収納するフォルダーを設けること。

5 ポンプ室

- (1) ポンプ室はポンプの補修に必要な箇所が取外しできる構造とすること。

- (2) ポンプ点検口は可能な限り大きく設けること。

6 座席

- (1) 助手席には、飛鳥車体制の空気呼吸器一体型シートを設け、スペースには、ウォーカーウェイ（エアウォーター防災製ブルネッカー530Ⅲ及びドレーゲルPSS5000に対応）1器を取付け、走行中の脱着が容易に行えるようにすること。

また、助手席側中央ピラには、助手席で使用する呼吸器の面体等を掛ける2段フックを取付けること。

- (2) 前席中央部には、運転者がシフト操作時に支障のない大きさに収納箱を設けること。収納箱はA4サイズファイルが収納できる蓋付のものとし、収納箱前方には無線機等を収納するホルダーを2個設けること。

また、収納箱後部には、パンチングボードを4面に使用した縦入れ型のA4ファイル書類立てを設けること。(別途協議)

なお、走行中に、収納箱上部に置いている個人装備品等が落下等しないように、バンド等で固定ができる構造とすること。

- (3) 助手席は、エンジンオイル等点検のため座席を起し固定できるものとする。

7 側板

ボディ側板及び各ステップ部の材料は重量軽減、防錆を考慮し可能な限りアルミニウム等を使用し、端部周辺は折り曲げ構造とすること。

8 ステップ、手摺り

- (1) 後部座席ドア下部に、サイドステップを延長し、有効なステップを設けエプロンを取付けること。(引出し式バッテリーが容易に引出せるように艤装すること。)

また、センターピラ及び後部ピラに手摺りを取付けること。

- (2) 資器材の積み降ろしが容易にできるように、車両左右に有効なステップ及び手摺りを取付けること。

- (3) その他、当本部が指示する箇所にステップ及び手摺りを設け、指示する箇所に色付けをすること。

9 はしご昇降装置

車体上部に三連はしごを積載し、昇降装置は地上から操作が可能な手動式の後方展開式(ローラー方式)で容易に取出すことができる構造とすること。

10 ホースカー及び積載方法

- (1) ホースカー(詳細別途協議)

ア) ホースカーは65mmホースが6本以上積載できる、制動装置付きのものとする。

イ) 内側に防水カバー(取外しできるもの)を取付けること。

ウ) 上部は資機材が搬送できるように周囲に枠及び固定装置を設け、容易に取外しができること。

エ) e-ノズル65mm管そう1本、分岐管2式を取付けること。

オ) 後部シャッター内の上部収納庫を大きく確保するだけでなく、10(1)ア)から

エ)までを満たすことができるホースカーとすること。

- (2) 積載方法

ア) 車体後部に加納式で積載すること。

イ) 傾斜等であっても、引っ掛かり等なく容易に取出し収納できること。

ウ) 運転席及び車体後方でホースカーの収納等が確認できる、安全対策(警報装置等を

講ずること。

第4 主ポンプ

1 放水能力

自治省令で定めるA-2級の規格に合格するとともに、次の数値以上の能力を有すること。

- (1) 規格放水圧力0.85MPaにおいて2.0m³/min以上
- (2) 高圧放水圧力1.4MPaにおいて1.4m³/min以上
- (3) アルミ製高圧一段ポリュートポンプ（インペラーは青銅鑄鉄）とする。

2 取付け

ポンプは、シャシに堅ろうに取付け、振動等により移動、ゆるみが起こらないよう配慮すること。

3 軸受部

軸受部分については、不凍液等を使用しないメンテナンスフリーのメカニカルシール方式とすること。

4 ドレンコック

- (1) ポンプ本体下部にドレンコックを設け、排水が車両構造等にかからないよう配慮した構造とすること。
- (2) ドレンコックはポンプレバーと連動式とすること。

第5 真空ポンプ

1 性能

真空ポンプは、最大真空が高く、高落差でも吸水条件のよい、メンテナンス性に優れた、ピストンを左右に動かし吸排気バルブにより空気を排出するピストン式真空ポンプを使用すること。

- (1) 吸管外端閉塞にて、30秒以内に大気圧の84%に達すること。
- (2) 漏気は、30秒間に1.3KPa以下であること。

2 動力伝達装置

駆動装置は、円滑に作動し振動や騒音が少なく、揚水完了後は自動で停止するものとする。

3 クラッチ

動力の接・断は電磁クラッチによる構造とし、動力伝達については歯付ベルトによりスムーズな伝達が行なえること。尚、吸水配管内の空気を効果的に排出するエアチャンバ方式とする。

4 排水

真空ポンプの排水は、手動ブレーキ、排気管及び電気配線等にかからないよう下方へ設け、シャフト下部まで排水管を取付けること。

5 操作

真空ポンプの操作は、押しボタン式スイッチとし、車体左右に取付けること。また、非常用の別系統スイッチ及びメーターを車両右側に設けること。

第6 吸水装置

1 吸水口

吸水口は、75ミリのボールコック（ストレーナー付）をポンプ室両側に各1口設けること。

また、エゼクターバルブを両側に設け連続放水ができること。

2 吸水管

ボールコックにはエルボを取付け、これに75mm×10mの軽量吸水管を接続し、車両両側に収納装置を設け固定すること。

3 配管

吸水配管は、流水抵抗をできる限り少なくするよう努め、排水が完全にできること。

4 吸水装置

通水確認できる透明ボール付きのエゼクターバルブを左右に取り付けること。

透明ボールは容易に取外しできること。

第7 吐水装置

1 自動放口閉塞弁

(1) 吐水配管を外すことなく修理が可能な構造とする。

(2) 車体が傾斜しても自動的に閉じる構造とする。

2 吐水口

(1) 吐水口は、65ミリのボールコック式とし、ポンプ室両側に各2口設けること。

また、吐水口には放口媒介金具を取付けすること。

(2) ボールコックは高圧においても容易に開閉操作ができ、排水が完全に出来る構造とすること。

3 吐水配管

(1) 流水抵抗の少ない構造とする。

(2) 配管の排水が完全に出来るような構造とすること。

第8 中継吸水口

1 中継吸水口は、65ミリのボールコック式（ストレーナー付）とし、ポンプ室両側に各1口を設けること。

また、中継吸水口には、中継用媒介金具を取付けること。

2 パイプ、ボールコック等の排水が完全に出来る構造とすること。

第9 冷却水配管

1 水源

エンジン及びギヤケースの冷却のため、冷却水配管を吐水配管より取出して設けること。

2 配管

配管は、1系統にまとめ、1個のバルブで調整できること。

3 予備回路

バルブは、予備回路を設け、それぞれにストレーナを設けること。

第10 ポンプ操作装置

操作機構

- 1 車両左右に、圧力計、連成計、ポンプスロットル、真空ポンプ作動、停止スイッチ、P T Oスイッチ及び多目的液晶表示装置（以下「液晶ディスプレイ」という。）を一体化した操作盤を設けること。なお、操作性を考慮した液晶ディスプレイとし、スイッチは可能な限りボタン式とすること。
- 2 圧力計、連成計及びポンプスロットルは電子式とすること。
- 3 各操作レバー、スイッチ及びコック等の付近には、ネームプレートを取付けること。
- 4 各配管とも完全に排水できるようにドレンコックを取付けること。ドレンコックは隊員が容易に操作できる位置に設けること。
- 5 流量計装置をポンプ室右側第1、2放口、左側第1、2放口ボールコック配管のポンプ側に流量検出部を設けること。
 - ア) 流量検出部は、吐出配管の直管部分（可能な限り長くする。）に設け、清掃等が容易に行えるように設けること。
 - イ) 流量表示等も液晶ディスプレイ内に表示すること。
- 6 自動調圧装置を取り付けること。

第11 収納庫

- 1 器材収納庫及び収納箱（詳細別途協議）
 - (1) 収納庫及び収納箱は、附属品を積載できるよう空間を無駄なく活用して設計すること。

また、附属品は走行中に移動、脱落及び破損がないようその特性を考慮して確実に取付けること。収納庫に棚を設ける箇所については、可能な限り可動式とし、仕切りを設ける場所はパンチングボードを使用すること。
 - (2) 収納底部には樹脂製スノコ板等の保護材を必要箇所に敷き、水等が溜まらないよう排水口を設けること。また、車体上部の収納箱についても、水等が溜まらないよう収納箱に排水口を設けること。
- 2 ポンプ室上部のアルミシャッター式（鍵付き）器材収納庫
ポンプユニット上部に資器材収納ボックスを設けること。
- 3 左側面吸管上部収納庫
跳ね上げ式扉付器材収納庫とすること。
- 4 右側面吸管上部収納庫
跳ね上げ式扉付器材収納庫とすること。
- 5 後部（背面）シャッター内収納庫
アルミシャッター（鍵付き）器材収納庫とすること。下部には手動式昇降装置付きホースカー式を収納し、ホースカー上部に器材収納庫を設けること。

6 車体上部

車体上部は、スペースを有効活用し収納箱等を配置すること。

7 その他

(1) 車輪止めを左にブラケットを設け収納すること。

(2) その他資器材の収納については、本仕様書記載の資器材を重量配分等に考慮をしてバランスよく積載できるように製作すること。

また、昇降用折りたたみ式ステップから車体上部へアクセスするスペースについては、資器材を配置しないこと。

※詳細は別途協議とする。

(3) 夜間の作業が容易に出来るよう、必要箇所にLED照明灯を設けること。なお、点灯及び消灯は、収納庫の扉及びシャッターの開閉によるものとするが、必要箇所には単独SWを設けること。

第12 外装部

1 塗装

シャシは、下地の剥離や錆が生じないように、入念な錆止め下地塗装を施すこと。上塗り時には塗装が剥離しないよう入念な下地磨きのうえ、消防用朱色ウレタン塗装により3回以上の塗装をし、クリア仕上げ剤により美しく仕上げること。

また、艀装した鋼板は、入念な錆落とし後に下地塗装を行い、その上にシャシと同色の吹き付け塗装をすること。(タイヤホイールは除く)

なお、アルミシャッター及びシャシフロントマスクのグリル等についても消防用朱色ウレタン塗装を施すこと。

2 その他の塗装

ポンプ、シャシフレーム等は、メーカー標準色、器材収納庫はシルバーで入念に吹き付け塗装を行うこと。

3 配管塗装

各配管には、動力消防ポンプ規格による塗色を施すこと。

4 ネームプレート及び明示ステッカー

各操作レバー、バルブ、コック類には、永年使用により文字が消えないプレートを貼付けすること。

艀装部分において、強度等の制限がある場合は許容荷重等をステッカー等で明示すること。

第13 艀装材料・厚さ

1 艀装材料

材料は、すべて日本工業規格に基づいて精選された耐久性に富むもので、国が行う補助の対象となる消防施設の規格に示す強度以上のものであること。

2 厚さ

厚さは、国が行う補助の対象となる消防施設の規格に示す数値とし、ステップ、リヤフェンダー上部及びその他必要とする部分は、縞鋼板とすること。

第14 特殊艙装

1 バッテリー

バッテリーは、点検が容易にできるように引出式とすること。

また、容量は12V-130AH以上を2個以上（納車時新品）とすること。

（乗降の妨げとならないように留意すること。）

2 座席

(1) 助手席はメーカー標準シートを飛鳥車体制の空気呼吸器一体型シートに改造すること。

(2) 後部座席の背もたれ部分背当て部分を低くし空気呼吸器の着装に支障がない構造とし、ウォーカーウェイを3基取付けること。

また、座席に着席している状態で、空気呼吸器の着装が可能な高さに艙装すること。（別途協議）

3 後部座席下収納

後部座席下には収納庫を設け、小型充電器及びインバーター本体（1000W）を取付け、それ以外のスペースに小物が収納できるようにすること。

また、小型充電器のランプが確認できる窓をポリカーボネイト製で取付けすること。（位置等は別途指示）

座席下助手席側の精密機器取付け部には、鉄板等を設け機器を保護することとし、運転席側には、小物等が容易に取り出せるよう、大型ロック装置を設けた扉を側面に設置すること。

座席足下には、弁慶及び万能斧を、ブラケットを設け取付けすること。ブラケットは乗降の際、接触危険がないように設けること。

4 オイルパンヒーター及び小型充電器[SA-12PW-M]

(1) オイルパンヒーター及び小型充電器を設置すること。

オイルパンヒーターコード接続により、交流電源がオイルパン及び小型充電器へ通電するよう艙装すること。

また、小型充電器とバッテリーを接続し、オイルパンヒーターコード接続時にバッテリーが充電できるようにすること。

(2) オイルパンヒーターコードの差込口は蓋付のボックスとし、マグネットにより脱着できるように改造すること。コードについては、10mのものとする。

(3) コードは漏電、感電しない構造とし、コードの自重で脱落しない構造とすること。

(4) オイルパンヒーターコード接続時に、オイルパン及び小型充電器へ通電していることを確認できるランプをそれぞれ運転席付近に設け、容易に視認できるものとする。（位置等は別途指示）

(5) オイルパンに接続するラインには、入り切りスイッチを設けること。

ただし、オイルパン入り切りに関係なくバッテリーへの充電は行えるようにすること。（位置等は別途指示）

5 メインスイッチ

- (1) メインスイッチは、バッテリーから直接電力を供給されているもの以外は、メインスイッチOFFですべて切断できるものとする。
- (2) メインスイッチを運転席付近に取付けすること。
- (3) メインスイッチはON、OFFが確認できる視認性が良いランプを取付けすること。
※シャシで標準装備されているメインスイッチがある場合は、メインスイッチの取付けは不要とする。

6 電源コンセント

AC100Vの電源コンセント2口をキャブ内前後に2箇所（USB対応）、車外に1箇所（合計使用量が1,000W以上）設置すること。（位置等は別途指示）

7 保護板及び反射シール

すべての艀装箇所において、隊員の乗降り、器材の積み降ろし等により、塗装箇所に損傷を与える恐れがある箇所には、アルミ製保護板等を張付けすること。

また、各扉兼ステップを展開した際に出る側面に反射シール（黄色）を貼り付けすること。

8 デパーチャーアングル

路面との接触防止のため、デパーチャーアングルを可能な限り大きく設計する他、車両最後部の補強を行うこと。

9 メッキ仕上げ

消火栓金具、放水媒介金具、中継用媒介金具、吸水管金具等はアルミ合金製とするが、手摺などメッキ可能なものは、すべてクロームメッキを施すこと。

10 文字記入

文字は、すべて左から右書きとすること。車両納入前に、ステッカーの剥がれ等がないことを入念に確認すること。

また、使用後もステッカーの剥がれが発生しないような貼付けとすること。

※詳細別途指示

(1) キャブ左右

前側ドアに当本部が支給するロゴマークを貼付し、後側ドア窓枠下側に「吹田市消防本部」、下部後方に「正雀P1」（白色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示すること。

(2) 車両正面

助手席側に「吹田消防」（白色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示すること。

また、運転席側には当本部が指定するステッカーを貼り付けすること。

(3) 車両後部

当本部が指示するデザインで、「吹田市消防本部」、「SUITA FIRE DEPT.」、「OSAKA」（白色反射カッティングシール、丸ゴシック文字、影なし）を表示すること。また、当本部が指定する箇所に指定するステッカーを貼付けすること。

(4) 車両左右側面

アルミシャッター全面には「SラインUITA F. D.」（白枠塗りつぶしなし）

反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし・デザインは別途指示)を表示すること。

(5) キャブ上部

「吹田正雀P1」(白色カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし)をできる限り大きく表示すること。

(6) その他

車両には、フロントマスクを除く周囲にデザインライン(黄色反射カットティングシール)を当本部が指定する幅で表示すること。

なお、キャブ左右後部のデザインラインの中に「OSAKA」(赤色反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし)、車両左右前側アルミシャッター部のデザインラインの中に「SUITA FIRE DEPT.」(赤色反射カットティングシール、丸ゴシック文字、影なし)を表示すること。

(7) 資器材

当本部が指定する資器材に、「S」(デザインあり)、「吹田消防」、「SUITA FIRE DEPT.」、「OSAKA」(丸ゴシック文字)を3段書きカットティングシール等(詳細別途指示)で文字入れすること。

11 不凍液注入装置

不凍液注入装置は、色水給水装置と兼用とし、ポンプ室左側に設けること。

12 モーターサイレン・スイッチ

キャブ上部にモーターサイレンを1個取付け、助手席側に足踏み式一段スイッチを設け、運転席側の操作が容易にできる位置に押しボタン式二段スイッチを取付けすること。

13 電子サイレンアンプ

大阪サイレン社製「TSK-D152 Mark-D1」を取付け、マイクロホンMC-1Sを接続し、サイレンとマイクが同時使用できること。

また、後席にもマイクジャックを設けマイクロホンが使用できるようにすること。

(位置等は別途指示)

14 ICレコーダー

広報用にICレコーダー(オリンパス社製V-872)を備え、スピーカーは電子サイレンと共用とすること。

※納入前に必ず外部へ正常に音声が出力できることを確認すること。

15 赤色警光灯※詳細別途協議

(1) キャブ上部にウイレン社製FV10H1260mm吹田仕様を設けること。

(2) スピーカー付きとすること。

16 赤色点滅灯

(1) フロントグリル上部左右に、ウイレン社製WIONSBR24を取付けること。(合計2か所) ※詳細別途協議

(2) 後部(背面)上部左右にウイレン社製M6FR24保護カバー付(ULF28×1)を取付けること。(合計2か所)

(3) 左右側面上部にウイレン社製M6FR24を前方及び後方部分に取付けること。(合計4か所)

17 作業等

- (1) 後部（背面）上部左右にウイレン社製M6 Z 2 4（保護カバー付）を取り付けること。（合計2か所）
(2) 左右側面上部に各2箇所ウイレン社製M6 F R 2 4を取付けること。（合計4か所）

18 路肩灯

左右後輪前方に後輪照射灯（LED）を取付けること。

19 後端灯

車両左右の後端部の上下に後端灯を取付けること。運転席ミラーで確認できるような可能な限り張り出すこと。

20 照明灯

車体上部に照明灯（LED）を取り付けること。

21 牽引フック

車両前後に外れ止め付きのけん引用フックを埋め込み式で取付けること。

また、かけ縄（ワイヤー）等が接触する箇所については、保護板等を貼付けすること。

22 各種電装品の電源

艀装に伴う各種電装品の電源は、メインスイッチと連動させ、スイッチの切り忘れなどによりバッテリー上がりを防止するため、キースイッチONで入り、OFFで全て切れること。

23 無線電話装置

指定する車両から車載無線電話装置等を取外し、当本部の指定する車両に取り付けること。

また、当本部及び当本部の指定する無線電話装置工事業者と調整し適正に取付けるよう配慮すること。

24 指令端末装置

指定する車両から指令端末装置等を取外し、当本部が指定する車両に取付けること。

また、当本部及び当本部の指定する指令端末装置工事業者と調整し適正に取付けるよう配慮すること。

なお、艀装業者は、無線電話装置・指令端末装置を適正に取付けるため各業者に作業日程の調整を行うとともに、事前に電源及び配線等について打合せ及び調整をすること。

※無線電話装置及び指令端末装置指定業者

協和テクノロジーズ株式会社

TEL 06-6363-8811 担当 松本氏

第15 補助規格取付品及び取付け装置

品名	規格・形状	数量
1 ポンプ圧力計、連成計		各2器
2 赤色点滅灯		1式
(1) キャブ上部		1式
	ウイレン社製FV10H（10灯式）	

	1, 260mm吹田仕様 標識灯、スピーカー付き (標識灯は黄色とし、吹田市【黒丸ゴシック】と記入)	
(2) フロントグリル及びバンパー付近	ワイレン社製WIONSBR24	4灯
(3) 左右側面上部	ワイレン社製M6FR24	4灯
(4) 後部(背面)上部	ワイレン社製M6FR24(保護カバー付)	2灯
3 モーターサイレン	7インチラッパ型	1式
4 サイレンアンプ	TSK-D152 Mark-D1 マイクロホン(MC-1S)2個	1式
5 照明灯	フラッシュボーイLED (フラッシュポール1000mm程度)	1式
6 エンジン回転計		1式
7 エンジン油温計		1式
8 後退警報器	切断スイッチ付	1式
9 電動サイレン	モーターサイレン(足踏み・ボタン式)	1式
10 ポンプ操作装置	液晶ディスプレイ式 (真空計、ポンプ回転計、流量計、積算流量計含む)	2式
11 キャブチルト装置	電動式(安全装置含む)	1式
12 オイルパンヒーター	車外マグネットコンセント・コード10m付	1式
13 不凍液注入装置	色水装置兼用	1式
14 車外無線送話機取出口	蓋裏側ホワイトボード付(ペン付)	2式
15 作業灯		6灯
(1) 左右側面上部	ワイレン社製M6Z24	4灯
(2) 後部(背面)上部(保護カバー付)	ワイレン社製M6Z24	2灯
16 路肩灯	バス用A型LED式	2灯
17 後端灯	LED式MYSM-L8-RY(左右上下)	4灯

第16 補助規格付属品

品名	摘要	数量
1 吸管	75mm×10mライフレックス吸管	2本
2 吸口ストレーナ		2個
3 吸管ストレーナ(ワンタッチ式2個、ネジ式2個)		4個
4 吸管ちりよけ籠(樹脂製、ワンタッチ式)		2個
5 吸管まくら木(樹脂製)		2個
6 吸管ロープ		2本
7 消火栓金具	75mmメスネジ×65mm差込メス	1個

8	中継用媒介金具	65mmメスネジ×65mm差込メス	2個
9	消火栓開閉金具	地上式、地下式(1.2m)	1式
10	吸管スパナ		2個
11	管そう		1式
		ヨネe-ノズルフォルダーPEH-65K 2本 PEH-40A 1本	
12	ノズル		1式
		横井製作所DA3 三段切替ノズル 2個 (ヨネセットアップキットレンチ含む) ヨネダブルコンマークII 2個 23mm・26mm各1個	
13	放口媒介金具	65mmメスネジ×65mm差込オス	4個
14	とび口		2本
15	金てこ		1本
16	剣先スコップ		1本
17	ホースカー	制動装置付き吹田仕様	1式
18	ホースカバー	ホースカー用	1式
19	はしご	チタン製三連はしご MAL-367 (全長6.47m以上、重量31kg以下)	1梯
20	車輪止	硬質ゴム製(左2個、右2個)	4個
21	消火器	自動車用(ABC粉末6kg入りサイクルシール付)	1本
22	ポンプ工具	グラウンド、冷却水ストレーナ用	1式
23	照明器具		1式
	構成品		
	(1) 発動発電器	ホンダEU9i	
	(2) 投光器	ヤマハ軽量2焦点型可搬式投光器(信号付灯光器型) E-054(LED可搬式投光器)	
	(3) 三脚	E-054用	
	(4) コードリール	E-054用30m 発電機接続ケーブル含む ※蛍光ストライプケーブル仕様	
24	ホース65mm	(プロファイター・カラーホース・リング締め) 使用圧力1.6MPa・長さ20m・金具アルミ合金製(蓄光 保護リング付き)綾織・袴部分は白色で長さおおむね40cm	70本
25	タイヤチェーン	後輪シングル 金属製	1式
26	分岐管	2コック65mm用AC(ヨネ) 2コック40mm用AC(ヨネ)	1個 2個
27	ホースブリッジ	コンパクトブリッジCB450	1式
28	牽引ワイヤー	14mm×5m(トロック・アイ部分を除きビニール被服)	1本
29	ホース40mm	(プロファイター・カラーホース・リング締め) 使用圧力2.0MPa・長さ20m・金具アルミ合金製(蓄光	30本

保護リング付き)綾織・袴部分は白色で長さおおむね30cm

30	特殊ノズル	クアドラフォグノズル	2式
31	斧	柄グラスファイバー製	1本
32	スタンドパイプ	単口引上800mm差込L字接手付きAC (エルボー離脱式)	1本

第17 特殊取付品・付属品

	品名	摘要	数量
1	牽引フック	前後滑り止め付き	1式
2	ICレコーダー		1式
	構成品		
	(1) 本体	オリンパスV-872 (同梱付属品) アクセサリー含む	
	(2) 電子サイレン (TSK-D152・Mark-D1) 接続コード	(接続コードは、ステレオからモノラル用で抵抗なしのものとする。)	
	(3) 収納シリコンケース	オリンパス CS-139	
3	エンジンカッター		1式
	構成品		
	(1) 本体	K-970レスキュー	
	(2) 替刃	2箱 (鉄鋼用・コンクリート用 各1箱)	
	(3) 専用工具		
4	ホースバック	プロジェクトガン用収納袋 (ヨネ) ネーム入り	1式
		ホース収納袋 (赤尾) ネーム入り	1式
5	吸水用ホース	65mm×5m キンパイ使用圧力1.6MPa	2本
		65mm×3m (色) キンパイ使用圧力1.6MPa	1本
6	吸水管用器具	スーパースイング	2個
7	吸管引上金具	ヨネPR75	2個
8	空気呼吸器	ドレーゲルセイフティージャパン社製PSS5000 レギュレータ接続部キャップ	4式
9	簡易呼吸器	パラート5510 2個、ショルダーバッグ 1個	1式
10	空気ボンベ	エアウォーター防災製ブルネッカー530CⅢ90° 保護カバー、金属キャップ付	12本
11	携帯型警報器	ドレーゲル ボディーガード1000 (タリーストラップ付)	4式
12	角スコップ	幅250mm	1本
13	媒介金具	65mm差込メス×65mm差込メスAC	1個
14	〃	65mm差込オス×65mm差込オスAC	1個
15	〃	65mm差込メス×40mm差込オスAC	2個
16	ストップバルブ	BO-65、BO-40 各1	2個
17	携帯拡声器	TD-503R (NZ-313ホルダー付き)	1個

18	木ハンマー	径75mm	1本
19	エアフォームノズル	200型(3%及び6%切替式) 深田工業株式会社 RP-200調整コック付き	1本
20	クリッパー	切断能力7mm以上	1個
21	万能斧	ミニ弁慶	1個
22	訓練旗	黒文字ポール付き	1式
23	サルベージシート	3m×3m	2枚
24	ガソリン携行缶	消防法適合品 5鋼製ネジ式(GT-5)1缶 500cc容器缶(BT-500)3缶	4缶
25	ホースバンド	マジックテープ式	5枚
26	ホースバンド	OH-1型バンド	2枚
27	布バケツ	10	5枚
28	携帯ライト	ハタヤLED 防爆、防雨構造型 PEP-03D 2器 (予備球2球付) GENTOS LK-524D 2器	4器
29	バックモニター	後退時に電源オン設定機能付き	1式
30	安全誘導灯	ポータ工業 RKC-BR9	2器
31	セフティコーン	伸縮式コーンALF-89	4本
32	矢印板	ポータ工業 PYG-C2	2枚
33	反射チョッキ	カスタムメイドベストB 株式会社ナカネ製 「吹田消防」と背中に記入(吹田仕様)	4着
34	レスキューシザー		1個
35	軽量滑車	TR-300	3個
36	ロープバック	PETZL バケットS41Y35L 2個 レスキュージャパンロープバック中サイズグレイ 2個	1式
37	ガス検知器	GX-8000 イグザム2500	1器 1器
38	バッテリー充電器	(株)デンゲン 小型用急速充電器 HR-MAX-70D	1式
39	災害現場用簡易トイレプラダントイレ(便器)	100回セット (ポップアップテント含)	1式
40	乾電池	積載品に必要とする電池	1式
41	色水装置用ホース		1式
42	補修用ラッカー	スプレー式及び缶入り	1式
43	ステンシルプレート	「正雀」「P1」「吹田消防」文字2.0cm角丸ゴシック ※耐久性に富むものとし、曲面に対しても使用可能なもの	1式
44	墜落制止用器具	藤井電工製TB-GB-521-SL-OR	1式

	130kgタイプ（新基準適合品）	
45	耐熱服 テイセン製ZK-5000 (上着、ズボン、手袋、銀長靴27cm、収納ハードケース※ネーム入り)	2式
46	ナイロン製三つ打ちロープ 東京製綱 12mm(白)×200m	1式
47	消火栓キー 吹田市専用消火栓キー日之出50型	1本
48	ポンプ用メンテナンスオイル	1缶
49	救助用縛帯 PETZL ピタゴール	1式
50	明示ステッカー 吹田市消防本部仕様 大、中、小(各50)	1式
51	エッチングプレート 車両長、幅、高さ、総重量、定員、登録番号、 最小回転半径、リヤオーバーハング、納入年月記入	1式
52	水槽用バールキー 日之出121型	1本
53	トラロープ 9mm×50m	1本
54	ひしゃく ステンレス製	1本
55	発煙筒 ロードフレヤー	10本
56	マンホール用取手	2本
57	立入禁止テープ BT60A 60mm×50m	5本
58	油ねんど 500g	10個
59	クーラーボックス (幅500mm、奥行290mm、高さ280mm)	1個
60	グラスマスター WGM-3 サクラホース(株)	1式
61	弁慶	1式
62	ドライブレコーダー GPS機能付き 自動時刻機能付き TDZ-D202同等品以上	1式
63	吊り下げ用フック	20個

第18 車両特殊取付品及び付属品

品名	備考	数量
1	エアコンディショナー	1式
2	音声アラーム	音声(後退、左折)切断スイッチ付
3	フロアーマット	前後
4	サイドバイザー	前後左右
5	メインスイッチ	バッテリー用(運転席)
6	ブースターケーブル	24V
7	スペアキー	
8	ドアエッジ	全ドア
9	座席カバー	透明、塩化ビニール製、全席
10	非常用信号具	三角停止板、発煙筒 ライフライト2 GM製
11	タイヤゲージ	
12	点検灯	LED式100V用5M

13	フォグランプ		1式
14	サイドミラー	2面鏡式（助手席電動格納式ワイドビュー）	1式
15	インバーター		1式
16	標準工具	工具箱付き	1式
17	マップランプ	助手席LED式	1式
18	スペアタイヤ	205/85R16ホイール付き、マッド&スノー	1本
19	坂道発進補助装置		1式
20	小型充電器	SA-12PW-M（七宝電子工業）	1式

第19 その他

1 現物支給品及び作製取付品

次に掲げる器具は、当本部から支給するので取付け方法等に注意すること。

- | | |
|------------------------------------|----|
| (1) 緊急防災工具（幅210mm、奥行530mm、高さ195mm） | 1式 |
| (2) エアーツー | 1式 |

第20 備考

1 発注台数（車両リサイクル費用含む） 1台

自賠責保険は、当本部が登録予定日の連絡を受けた後に加入手続きをする。

また、重量税については車両登録業者から当本部へ新規登録検査後に別途請求するものとする。

2 廃棄車両の引取り及び処分 1台

発注車両納車後、現在使用している消防車両（中型自動車以下）を引取り、廃棄、解体処分すること。廃棄車両の引取り日程及び場所については、後日指示する。

なお、業者において、車体の名称表示を確実に消去するとともに、赤色灯、サイレン等の解体撤去を行い抹消登録の手続きを行うこと。前記手続き完了後は、直ちに当本部へ抹消済の登録事項等証明書の写真及び解体後の写真データを電子メールで添付送信し、すみやかに両原本を提出すること。

3 ステッカー剥離

ポンプ車納車後に、当本部が指定する車両のカッティングシールを塗装に損傷を与えないよう配慮し剥がすこと。

第21 問い合わせ先

吹田市消防本部 警防救急室

TEL 06-6193-1117

FAX 06-6193-0101

以上